

広島県支援 研究開発型ベンチャー フィルテック(東京)を選定 半導体開発用の基板製造

東京都千代田区)を選んだ。将来、成長が見込まれるベンチャー企業を誘致し、県内での事業化を支援する初の試みとなる。

同社は、財団法人ひろしま産業振興機構などが八月に設立した投資事業組合から二千万円の出資を受け、県が近く広島市中区に開設するベンチャー企業向けオフィスに事務所を開く。

研究開発型の産業定着を狙った公募には関東、関西、四国、九州から計十一社が応募。フィルテックは①独創性のある高い技術力②広島大との共同研究や半導体関連企業との連携をにらんだ県内での事業化の動機③について高い評価を得た。

広島県は、県外のベンチャー企業を対象にしたビジネスプラン公募で、半導体開発用の超微細加工エラストウエハー(基板)を製造、販売するフィルテック(古村雄二社長、

用ウエハーを製造。エック

クス線を用いて超微細の回路線幅のパターンをウエハーに加工し、半導体製造装置メーカーに販売

している。同社は、三菱電機など半導体関連十一社と、広島大や東北大など四大学が会員となり、エック

クス線を利用してLSIの生産を目指す企業ととも、県内で大学連合体の幹事も務めている。このため広

島県は、今後も公募を予定する他のベンチャー企業とともに、県内で学による研究開発をけん引する役割を期待している。

同社は、二〇〇一年五月の設立で、従業員六人、資本金一億七千五百万円。パソコンや家庭用ゲーム機、携帯電話などの高性能化に向けた大規模集積回路(LSI)の技術開発が必要となる試験